

学園だより

No.46
平成30年3月

発行
広島県立広島学園
東広島市八本松町原 10844
電話 (082) 429-0351



「二年間の勤務を振り返って」

「出会いに感謝」

教頭 中山 勝志

園内の桜のつぼみも膨らみ、春の訪れを感じる季節となりました。

月日の経つのは早いもので、新任、教頭として本校に着任して一年が過ぎようとしていましたが、この度の人事異動により転出することになりました。

もみじ小学校、もみじ中学校は、県内唯一の児童自立支援施設である県立広島学園に併設された開校三年目の義務教育を行う学校です。教育と福祉が連携・協働しながら児童生徒の自立に向けてチームとして取り組んでいます。

児童生徒は、入園・入学前に様々な生活環境の下で過ごしており、人としての発達課題である基本的な生活習慣や基礎学力の定着、愛情の獲得が十分でない状況が見受けられます。

そこで、学校と学園の教職員が

児童生徒との信頼関係を深める中で「学び直し、育て直し」を行い、

個々の児童生徒の生活力・学力・人間関係能力等を習得させていきます。また、地域や青少年健全育成団体、企業の皆様からのご支援により、草花の定植や進路に関する講話をいただくなどの貴重な経験を通して児童生徒は、大きく成長しています。

先日、ある生徒の卒業証書伝達式が本校で行われ、原籍校、広島学園、もみじ小中学校の教職員の中で、その生徒は、原籍校の校長先生から卒業証書を受けとりました。その後、お礼のあいさつの中で、生徒は涙ながらに自分の素直な気持ちを言葉で表現しました。私は、その成長した生徒の姿に教育と福祉の連携・協働した「共育」の大切さと学校・学園の「使命」を実感しました。

これからも、もみじ小学校、もみじ中学校、広島学園に

すべての児童生徒、教職員、関係職員、各関係機関にとって「入園・入学して、働いて、繋がって良かった」と心から思える「共育」をめざし、心と絆の通うネットワークがより一層広がることを祈念しております。

一年間の勤務でしたが、皆様との出会いに感謝！そして大変お世話になりました。

行事・活動の報告

◆中国地区児童駅伝・マラソン大会

(十一月二日)

山口県山口市の山口県セミナーパークにおいて、第七回中国地区児童駅伝・マラソン大会が開催されました。

児童は、日頃の練習の成果を発揮し、駅伝の部・総合三位に入賞しました。



◆文化活動発表会 (十一月十九日)

広島県議会議員、東広島市議会議員をはじめ、二百名を超える多くの関係者に御来場いただきました。

和太鼓演奏、全校合唱、教科等発表、寮別発表、作文朗読を行いました。

た。うどん、喫茶、お茶席では、児童も接客に加わりました。



御来場者の感想 (一部抜粋)

【学校関係者】

●生徒一人一人が「やらされ感」なく、自然な自分の姿を自己表現することができていることに深く感動しました。彼と共に、彼の進路選択に向けて、鋭意努力していきたいと思っています。

●COSMOSの合唱、鳥肌が立つほど感動しました。

【保護者】

●皆、頑張っている姿を見られてほっとしました。これからも頑張る姿を見ていきたいです。作文では、自分の反省点を言っているけど、それを少しでもわかってもらえることが子供も大人も成長だと思えます。反抗期な所もあると思いますが、長い目

で見ていきたいと思えます。

●息子の笑顔が穏やかで輝いていました。環境も整っていて、子供達、皆がニコニコしているのが印象的でした。友達も出来たようで、安心しました。皆、素敵でしたー！

【関係機関等】

●作文朗読では過去の自分を正直に振り返って、今後への抱負を語っていたことが印象に残りました。必ず将来は光が当たるものと信じております。

【支援団体・機関】

●過去は変えられないけど、自分と明日は変えられることを作文発表等で学ばせてもらいました。できなかったことに気付くことができ、どうすればいいのか考えて行動することとは、本当に勇気のいることなんだと思いました。皆さんの発表を観ている、私自身も明日から変わるように頑張ろう、できるかもしれない、やってみようという勇気と元気を受けることができたように思います。

●これからも色んなことがあるでしょうが、負けないで夢に向かって頑張ってください。“夢を持ち続け、努力していけばいつか叶う”と信じています。皆、とてもかわいく輝いていました。

【更生保護関係】

●学園で学んだことや成長したことに自信を持ち、頑張ってください。皆さんを見守り続けてくれていてる人が必ずいることを忘れないで下さいね。

「COSMOS」の歌詞の様に私達は皆、銀河の星なのです。星には様々な色や光る力の強さは異なりますが、銀河にとっては大切な星なのです。お互いに自分の光を大切に輝きましよう。

◆東広島マツダ会クリスマス交流会

(十二月二十二日)

東広島マツダ会様より、クリスマスプレゼントと図書書の御寄贈を頂きました。サプライズもあり、笑顔が絶えない会でした。今年もJリーグ観戦、工場見学、進路講演会とたくさんさんの支援を受けて頂きました。



◆餅つき行事(十二月二十八日)

東広島ライオンズクラブの皆様と餅つきを行い、午後からはペタンクをしました。餅をつくことが初めての児童が多く、ライオンズの皆様に

手ほどきを受け

ながら、賑やかに餅つきをしました。今年も年賀葉書、図書券、もち米とたくさんさんの支援をして頂きました。



◆スキー合宿(二月一日〜三日)

鳥取県の大山に二泊三日のスキー合宿に行きました。毎年お世話になっている緑荘に

宿泊し、おいしい食事を頂きました。ほとんどの児童が初めてのスキーでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。



児童作文

駅伝・マラソン大会に参加して

中三 男児

八月の終わりから、駅伝部活動が始まり、約二ヶ月練習に取り組みました。僕は、始まってすぐの頃は走るだけで全然楽しくなく、筋トレなども、ただしんどいだけで手を抜い

て走ったり、楽をしたりなどしていました。そうしているうちに、去年は自分の方が速かったはずなのに、他の人の方が速くて差がついてしまいました。このままでは、大会ではAチームで走ることができなくなったり、周りの人に負けると思います。手を抜かず頑張りようになりました。

しかし、すぐに追いつくはずもなく、なかなか差を縮めることができませんでした。でも、諦めることなく、しんどいところで踏ん張って一生懸命走り、少しずつ差を縮めていくことができ、九月の終わりの頃には、常にトップ集団で走るようになりました。それでも、自分の目標としていた人を抜かすことはできず、タイムトライアルでは自分がベストタイムで走っても、その人もベストタイムで走り、途中まで後ろを付いて走っているのですが、最後にその人がスピードを上げ、差が広がり、自分もスピードを上げて付いて行けば良いのに気持ちで負けてしまっって、抜かすことができませんでした。それでも、頑張るって努力していき、一生懸命練習に取り組みました。そして、大会前日にメンバー発表があり、自分は駅伝Aチームの三区目を任せられました。Aチームで走りたいと思

っていたので、嬉しかったです。

大会当日、一区目がスタートして、一位とあまり差がなく二位で二区目の人がスタートし、少し差がついてしまい、三十一秒差で自分に襷が渡されました。走り出してから少し前に一位の人が見えて、追いつくことができると思い、頑張って走りましたが、あまり差を縮めることはできませんでした。でも、二十五秒差まで縮めて四区の人に渡しました。四区の人是一位の人に抜かされてしまい、五区の人はずぐ後ろの所まで追いついていて、ゴール直前まで勝負がどうなるか分かりませんでした。抜かすことができず、結果は三位ということになりました。優勝をすることはできませんでしたが、自分は区間賞を取ることができ、チーム皆で頑張ったやりきったので良かったです。この部活の中で学んだ踏ん張りなどを日々の生活の色々な場面活かしていこうと思えました。

そして、一日中付き添ってくださった先生や早い時間から見送ってくださった先生や遅くまで帰りを待たせてくださった先生達への感謝の気持ちを忘れないようにして生活していきます。

（文化活動発表会朗読）

僕の大切なこと 中三 男児

広島学園に入所が決まった時は、別にいいし。家から離られるからラッキー。でも、自分では歯止めも効かなくなっていたから、ほっとした思いもありました。だけど、自分を変える気持ちは全くありませんでした。

入所してからも、基本的なルールに従おうとせず、指摘されても嘘や誤魔化しを繰り返しました。どうやって、誤魔化そうか。何とかして騙してやろう。本当のことを言えば負け、そう思い、戦い続けました。それでも、通用せず、ふて腐れたり、反抗し続けて、日課が止まったり、個別支援になる生活が続きました。寮生に対しても、わざとぶつかったり、小声で怒らせることを言ったり、無視をしたりと、当たり散らすようなことを何度もしました。

入所後、二ヶ月が経って、やっと初めての振り返りをしました。でも、自分の課題に向き合いたくないから、やらんでいいしと思っていて、ふて腐れたり、反抗したりを続けました。その結果、振り返りは中断になりました。その時

の僕は、やった、今回は僕の勝ちだと思っていました。寮生活より、学校生活は楽しくて、理科と社会が前より好きになりました。定期的に、心理の先生の面接があつて、寮内の嫌なことは何でも話しました。笑いながら聞いてくれて、とても楽しくて待ち遠しい時間でした。

入所後、半年が経っても、生活を改める気持ちはなく、寮生に対する嫌がらせをして、個別支援になりました。いつもの嘘や誤魔化しで押し通そうとしましたが、先生は繰り返し、僕が本当のことを言えるように、「言えるよ。」と言っていました。今だ、言おうと思っても、口は開くけれど、言葉が出ませんでした。すごく時間がかかりましたが、先生は待ち続けてくれました。詰まりながら、初めて、本当のことを言いました。先生はよく頑張った、自分で乗り越えたよと言ってくれました。あまりの緊張からか、その晩、熱が出ました。

寮生に対する見方にも変化がありました。年上のある寮生は、部活動での長距離走で、苦しくなっ

たところで頑張っていました。あの寮生は、生活がとても安定していて、寮生に対する接し方が上手でした。受験に向けて、余暇時間も勉強をしている寮生もいました。そんな先輩方を見ていて、このままじゃいけんかな。今からでも変わるかな。自分にできそうなこととして、走ることに頑張ってみようと思いました。走ることは好きですが、長距離や起伏のあるコースは、何度も挫折しそうになりました。しかし、前とは違って、途中で止めずに頑張りました。その結果、タイムが上がり、とても嬉しかったです。三月から野球部としての練習が始まりました。基本的な練習は体力的に辛かったです。バットの握り方、振るタイミング、フォーム、ボールの握り方や捕り方を丁寧に教えてもらいました。しかし、ボールが当たると痛くて、ボールが怖くて体が逃げてしまい、何度も叱られました。練習が嫌でした。でも、ミスをして、誰かが「ドンマイ」と言ってくれたり、カバーをしてくれて、逃げている場合ではないと思いはじめました。大きな声を出して、前向きにプレーすることを意識しま

した。そうすると、ボールが捕れるようになり、怖さもなくなり、野球が楽しくなってきました。中国少年野球大会まで、絶対に生活を崩さず、一緒に大会へ出ようと、同級生の寮生と約束をしました。その寮生も野球は苦手で、苦戦していました。その寮生は、もし、僕が約束を守れなかったら、どうするのかと聞いてきました。彼も普段は、面倒なことはやりたくないタイプでしたが、彼なら一緒に頑張ってくれると信じて、僕は絶対に崩れないと言い切りました。大会まで一緒に頑張り続けることができて、信頼感が生まれました。このことも、僕が成長できた大きな出来事の一つです。

生活が落ち着くと、色々なことを任せられるようになりました。まだ、嘘をつくこともあります。その後、正直に話して謝ることが出来るようになりました。先生方が叱りながらも教えてくれることが、僕を変えろうという気持ちにしてくれました。僕は、自分の気持ちを伝えることが苦手です。今は、大人の助けもあり、何とか自分の気持ちが伝えられています。しかし、退園後は他人の助けがな

くても、自分で伝えていかなければなりません。そのためには、ここで失敗しても、やり直すことをしつかり身につけておきたいです。

父は、僕が繰り返して迷惑かけても、決して見捨てず、一生懸命に育ててくれました。姉は、自分のことで忙しい時も、母親のように僕の世話をしてくれたり、反抗しても、何とかしようとして関わり続けてくれました。

これからは、僕が家族を助けたり、恩返しができるよう、精一杯頑張ります。

スキー合宿に参加して

中三 男児

今回、僕はスキー合宿へ参加しました。僕は班長としてスキー合宿に参加することが不安でした。自分が班長で、本当に大丈夫なのかと思っていました。準備は大変でしたが、いよいよ、合宿の日がきました。「うまくやれるかな。」と思って、出発式からとてもドキドキしたり、不安もありました。バスに乗ったら、落ち着いて景色を楽しむ余裕も出てきました。緑荘では礼儀はきちんとしようと思っていたので着くと、「こんにちは。よろしくお願います。

」と言えました。その日に食べたチャーハンがとても美味しかったのをよく憶えています。

その日は午後からスキー場に行き、まず最初に体操をしました。滑る時、山の上に登る時に、とても難しくてカニ歩きで登りました。そして、山から降りる時、内股で降りるのがとても難しく、途中何度もこけたけど、諦めずに滑るうちに上手になっ

てこけなくなりました。スキー教室も終わり、緑荘へ帰って風呂に入りました。冷えた体が暖まるのがとても気持ち良かったし、マナーが良いと褒められることもあったので良かったです。夜ご飯には、羊の肉を食べました。猪の肉はとても美味しく、ご飯を何杯もおかわりしました。たくさん食べていいと言われて、五杯位食べました。調子に乗って食べ過ぎて、お腹が痛くなりました。あまり食べすぎたらいけないと思いました。

二日目は、色々コースを回りました。まず、カーブの曲がり方のテストをして、朝のテストは不合格で、昼のテストでは合格だったのでとても嬉しかったです。また、チャンピオンコースも行きました。とても高くてこけたりしていました。コツを

掴んで滑ると、思ったより滑れるようになりました。とても嬉しかったです。また、その後も滑って、福田先生にとても上手くなっていると云われたので嬉しかったです。二日目の夜ご飯はなんとカニなべでした。とても美味しかったです。またご飯をおかわりしてしまいました。班長会では、自分のいけなかったことなどを言えたので、次の日の反省になり、とても良かったと思います。緑荘に戻り、帰る準備もちゃんとして素早くやれました。帰る時も、「ありがとうございました。」と言い、最後まで礼儀マナーをできました。今回、私は合宿へ行って身につけたことがあります。それは自信を持つことです。自信を持つてやると、やればできると思ったからです。スキー合宿へ連れて行ってってくれてありがとうございました。

《ホームページ》

広島県のホームページの中で、「県立広島学園」のページがあります。支援者の方との交流や学園行事の様子などを掲載しています。

「https://www.pref.hiroshima.lg.jp/sis/hiroshimagakuen/」